

ハッピー龍^{リウ}イヤー!

～絵画・工芸の龍を楽しむ～

HAPPY

龍^(ryu)

YEAR

2024!

Celebrating the New Year with Dragon-Motif;
Art and Crafts Masterpieces
from the Seikado Collection



2024年 1月2日(火) — 2月3日(土)

〔休館日〕月曜日、1月9日(火) ※ただし、1月8日(月・祝)、1月29日(月)は開館 〔開館時間〕10時～17時(金曜日は18時まで) ※入館は閉館の30分前まで
特別開館日…1月29日(月)を、普段ご遠慮いただいている展示室内での会話が自由にできる日、「トークフリーデー」として特別に開館いたします。ご入館者、どなたも作品をご覧になりながら、
ご自由にお話してください。なお当日は、展示室内で担当学芸員による列品解説(事前予約不要)を、11:00～と14:00～の2回(各回40分)行います。

〔入館料〕一般 1,500円 大高生 1,000円 中学生以下無料 障がい者手帳をお持ちの方 700円(同伴者1名無料)

※「辰年生まれ」の方、姓に「龍・竜・辰・タツ・リュウ」がついている方は、同伴者も含め、本展の入館料を200円割引いたします。

ただし、他の割引との併用はできません。(ご入館の際、証明になるものをご提示下さい。)

〔主催〕静嘉堂文庫美術館(公益財団法人 静嘉堂)

静嘉堂@丸の内

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒100-0005 東京都千代田区丸の内
2-1-1 明治生命館1階
TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)
<https://www.seikado.or.jp>

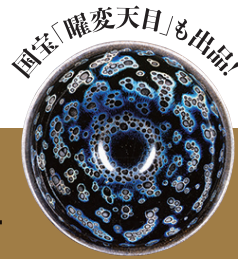


日時指定
予約優先

※当日券もあります
※予約はこちらから



JAPAN
CULTURAL
EXPO 2.0





鈴木松年《群仙図屏風》(左隻部分) 明治28年(1895) Pair of screens with Immortals(detail), by Suzuki Shōnen, Japan

京都の絵師・松年が「第四回内閣勲業博覧会」で披露した屏風の大作。龍に乗るのは西王母の娘「太真王夫人」です。雅邦はそこで《龍虎図屏風》(チラシ表面)を出品。「東西対決」と話題にもなる、双方とも賞を逃すという事態に。本展で競演ふたたび!

ハッピー龍イヤー! ~絵画・工芸の龍を楽しむ~

Celebrating the New Year with Dragon-Motif;
Art and Crafts Masterpieces from the Seikado Collection

想像上の動物である「龍」は、古代中国で誕生しました。天に昇り、雨を降らせるなど様々な力をもつとされ、強さや権力を象徴する龍は、吉祥図様として、東アジアの絵画をはじめ、数多くの工芸品に取り上げられています。

中国の「五行思想」*とも結びついた龍は、四神の中で東方を護る青龍となり、西方の白虎と“玉環”を取り合う図像も多く認められます。これは陽(東方)と陰(西方)のバランスが取れていることを示し、それにちなむ「龍虎図」が良く知られています。鳳凰と組み合わせて皇帝と皇后を象徴した「龍鳳図」、雲を従わせ天空を飛翔する「雲龍図」、波間に姿を現す「龍濤図」など、龍は多彩な姿で表され、人々に親しまれてきました。

本展では、重要文化財の橋本雅邦《龍虎図屏風》(チラシ表面)をはじめ、龍をモチーフとする作品を幅広いジャンルから集めました。これまで公開される機会が少なかった作品も、ここぞとばかりに登場いたします。

古来人々がその霊力、吉祥を呼ぶ力に願いを込めた「龍」の絵画・工芸品を、2024年・辰年正月の「静嘉堂@丸の内」にて、どうぞお楽しみ下さい!

*古代中国の自然哲学の思想。万物は木・火・土・金・水の五つの元素から成り立ち、それが互いに影響を与えながら天地万物が変化、循環するという考え。

【表層】上段:重要文化財 橋本雅邦《龍虎図屏風》(右隻部分) 明治28年(1895) Pair of screens with "Dragons and Tigers" (Dragon detail), by Hashimoto Gaho, Japan 中段(左右とも):《紺地龍壽山福海模様刺繍帳》(部分) 清時代(19世紀) Satin screen with design of dragon and Shou-shan-fu-hai (good-fortune) motif, embroidery (details), China 下段(向かって左から):《青花黄釉雲龍文盤》(部分) [大清乾隆年製] 景徳鎮官窯 清・乾隆年間(1736~95) Dish with design of dragons and clouds, underglaze blue and overglaze yellow, partly colored with green enamel, China / 《緑紫彩龍文瓶》景徳鎮窯 清・康熙年間(1662~1722) Vase with a design of dragons. Biscuit-enamelled ware with green and purple glazes, China / 《堆黑蟠龍文棧花盆》(重要美術品 唐物茄子茶入「利休物相」付属) 南宋時代(12~13世紀) Attached tray for Rikyū-mossō tea caddy, with design of small dragon and cloud in black lacquer carving, China / 記内《龍図透し罽》越前住記内作 銘 江戸時代(18~19世紀) Sword guard with openwork design of a dragon, by Kinai, Japan / 《五彩龍花卉文尊式瓶》[大明万曆年製] 銘明・万曆年間(1573~1620) Large vase with design of dragon and flowers in zun shape, overglaze enamels, Jiajing mark and period, China / 《青花龍文大壺》(部分) [大明嘉靖年製] 銘明・嘉靖年間(1522~66) Large jar with dragon design, blue and white, Jiajing mark and period, China 右下:国宝《曜変天目》(福葉天目) 南宋時代 12~13世紀 Teabowl, Yōhen Tenmoku, known as "Inaba Tenmoku" Southern Song dynasty, China

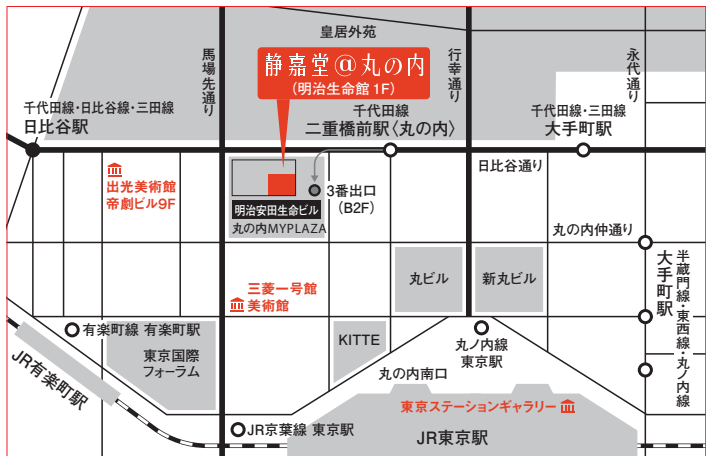


三代歌川豊国(国貞)・歌川広重画《長崎 円やま》(部分) 江戸・文久元年(1861) Maruyama pleasure district in Nagasaki (detail), by Utagawa Toyokuni III and Utagawa Hiroshige, Japan 長崎の異国情緒あふれる景色や調度品、豪華な花魁の着物を(打掛)には見事な龍模様が! 色彩も見事な浮世絵です。



《色絵団龍文陶板》有田窯 江戸・元禄年間(1688~1704) Ceramic plaque with dragon design, in overglaze enamels, Imari ware, Japan 西本願寺転輪蔵内部を飾った陶板と同様のもの。柿右衛門様式の色絵で描かれた青龍。

《鉄砂雲龍文壺》広州官窯 朝鮮時代(17世紀後半) Vase with dragon and cloud design in underglaze iron-oxide, Korea 径が40cm近くもある官窯の大作。龍の表情、蓋の形はじつに大らか!



【交通案内】※当館に専用駐車場・駐輪場はございません。
■地下鉄千代田線 二重橋前(丸の内)駅 3番出口直結
■JR東京駅 丸の内南口より徒歩5分 / JR有楽町駅 国際フォーラム口より徒歩5分
■大手町・丸の内・有楽町を結ぶ無料巡回バス「Marunouchi Shuttle」で「丸の内マイプラザ」下車すぐ

関連イベント 鼎談「辰年なのに…卯年快談!」

ゲストに 老舗古美術商、株式会社薩山龍泉堂の川島公之氏(代表取締役)と、世界を代表するオークションハウス、クリスティーズ・ジャパンの山口桂氏(代表取締役社長)をお迎えし、担当芸員の長谷川祥子も加わっての「異業種で飛び跳ねている(!?) 卯年生まれ」の鼎談です。古美術品をめぐる世界の動向、価格のこと(!)、それぞれの仕事の魅力や苦労まで、大いに語ります。

【日時】2024年1月20日(土) 14時~

【会場】明治安田ヴィレッジ 明治安田ホール丸の内(明治安田生命ビル低層棟4F)

【お申込み方法】詳細は当館ホームページにてお知らせいたします。

一次回展覧会

岩崎家のお雛さま

2024年2月17日(土)~3月31日(日)

音声ガイド

ナビゲーター
あつし
遠藤 淳さん(声優)
ご利用料金
1名様1台600円(税込)



静嘉堂@丸の内
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒100-0005 東京都千代田区丸の内
2-1-1 明治生命館1階
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://www.seikado.or.jp>